

宇喜多家史談会会報

第 94 号
令和7年4月24日

宇喜多家史談会
〒七〇〇八二六
岡山市北区磨屋町六一二八
光珍寺気付

【令和七年度総会会長挨拶】

宇喜多家史談会の皆様へ

宇喜多家史談会 会長 山下 貴 司

令和七年度宇喜多家史談会総会の開催にあたり、会の運営・活動にご尽力をいただきました関係者皆様方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

当日は、総会の冒頭のみに参加となりましたが、皆様方の深いご理解とご協力のもと、宇喜多家史談会会長としてご挨拶の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

宇喜多家の歴史に思いを致し、改めて身の引き締まる思いでございます。本当にありがとうございます。

「戦国 宇喜多家」の大河ドラマ実現に向けて「戦国宇喜多家を顕彰する会」も設立をし、宇喜多家が脚光を浴び、地元の誇りとして数々の功績を広く知っていただく機運は一段と高まってきております。

豊臣五大老の中では、唯一大河ドラマに取り上げられておらず、皆様方からの熱い思い、署名活動等が大きな頼りとなっております。どうか、一人でも多くの方にお声がけをいただき、宇喜多家の足跡を周知いただくことはもとより、今一度、宇喜多家に大きな光を与えていただきますようお願い申し上げます。

私も微力ではございますが、応援・支援の輪がより一層深まりますよう尽力してまいりますと存じます。

今後も会の運営・継続をはじめ、世代や地域を越える持続可能な活動をこれからも心がけていきたいと思いますので、引き続きのご

指導、ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、宇喜多家史談会の益々のご発展と、会員ならびに関係者皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

皆様とともに歩みを重ねることで、歴史を掘り起こし、時代を繋いでいければ幸いです。

令和七年三月十五日

【令和七年度総会記念講演】

「宇喜多氏と岡山城天守のリニューアル」

岡山市歴史調査専門監 小野田 伸

小稿は、令和七年（二〇二五）三月十五日（土）の本会総会後に行った講演の概要です。

早いもので、今から二年余り前のことになりましたが、岡山城は令和の大改修を経て、オープンしました。改修のきっかけは、昭和四十一年（一九六六）に再建された天守の耐震化工事が必要になったことでした。それを機に、（現存ではなく再建の天守であるということを前向きにとらえながら）天守の展示など内装を一新。「岡山城ゆかりの人物の歴史を、初心者にもわかりやすく伝える入口となること」（伝える城）、および、「岡山の街のシンボルとして、今まで以上に地元の方が集まる場所であり、市外県外の方のおもてなしができる場」（集う城）となることをめざしました。

私は、その中で天守の展示改修の担当をさせていただきました。したがって今回は「伝える城」をめざす中で、いかに宇喜多氏のことを発信しようとしたのか、ということを中心に説明します。

天守の展示改修では、岡山市出身の歴史学者・磯田道史先生に監